

沖縄県西表島で2月に成虫で採集したカミキリムシ

土川浩司¹⁾・土田 孝²⁾・河合秀樹³⁾・鈴木 俊⁴⁾

¹⁾ 〒 233-0002 横浜市港南区上大岡西 3-5-1-408

²⁾ 〒 431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1 浜松医科大学病院病理部

³⁾ 〒 020-0061 盛岡市北山 2-2-50-10-202

⁴⁾ 〒 206-0802 稲城市東長沼 3115-2

Cerambycidae collected at Iriomote Island, Okinawa Pref., SW. Japan, in February

Koji TSUCHIKAWA, Takashi TSUCHIDA, Hideki KAWAI and Takashi SUZUKI

南西諸島におけるカミキリムシ科の秋季の確認状況についての報告はされているが(河合, 2014; 榎原, 1989; 土田, 2011; 土屋, 2009), 早春季の報告は少ない(河合, 2014). 筆者らは, 早春季にあたる2013年2月7~11日の5日間にわたり沖縄県西表島においてカミキリムシ科を中心とする調査を行なった結果, 12種類を成虫で確認することができたので報告しておきたい. なお, 調査期間中の天候について少し述べておくと, 2月7~9日は曇天で降雨もあり気温はやや低かったが, 10, 11日は晴天で風も弱く, 気温が上がったため各種昆虫類の活動は活発であった.

カミキリ亜科 Cerambycinae

1. イシガキキマダラミヤマカミキリ *Aeolesthes (Pseudaolesthes) chrysothrix nakamurai* Kusama et Takakuwa, 1984

1ex., 相良川, 10.II. 2013, 鈴木採集.

日中にスダジイ *Castanopsis cuspidate* var. *sieboldii* の花に訪花中の個体を確認した. 成虫出現期は4~6月となっている(日本鞘翅目学会(編), 1984; 大林・新里(共編), 2007). 本土に生息する基亜種のキマダラミヤマカミキリでは材中で成虫越冬することが知られている. 本種も積算温度による脱出や訪花など類似した生態をしているのではないかと推察される.

2. リュウキュウアメイロカミキリ *Stenodryas clavigera insularis* Yokoyama, 1966

1ex., 相良川, 8. II. 2013, 土川採集; 3exs., 相良川, 10. II. 2013, 河合・鈴木採集.

広葉樹のピーティングとスダジイの花のスイーピングにより確認した.

3. サキシマヒメカミキリ *Cerecium fuscum shirakii* Hayashi, 1963

1ex., 相良川, 7. II. 2013, 土田採集; 1ex., 南風見,

11. II. 2013, 土田採集; 1ex., 船浦, 8. II. 2013, 土田採集; 1ex., 大富林道, 10. II. 2013, 土田採集. 各種広葉樹のピーティングで確認した.

4. チュウジョウクビアカモボトホソカミキリ *Kuraruia chujoi* Makihara, 1982

1♂1♀, 相良川, 10. II. 2013, 土川採集; 1♂1♀, 相良川, 11. II. 2013, 河合・土川採集; 2♀, 大富林道, 11. II. 2013, 土田採集.

スダジイの花のスイーピングにより確認した. 野外での成虫採集例は少ないとされている(大林・新里(共編), 2007).

5. ヤエヤマホソバナカミキリ *Thranium multinotatus latipennis* Hayashi, 1922

1♂, 10. II. 2013, 大富林道, 河合採集.

林縁部のツゲモチ *Ilex goshiensis* のスイーピングにより確認した. 成虫出現期は3~6月とされているが(日本鞘翅目学会(編), 1984; 大林・新里(共編), 2007), 一部はより早い時期から成虫で活動しているようである(河合, 2014).

フトカミキリ亜科 Lamiinae

6. ヤエヤマアヤモンチビカミキリ *Sybra (Sybra) flavostriata flavostriata* Hayashi, 1968

1ex., 大富林道, 7. II. 2013, 土田採集; 2exs., 船浦, 8. II. 2013, 土川・土田採集; 2exs., 南風見, 11. II. 2013, 土田採集.

各種広葉樹のピーティングで確認した.

7. フタホシサビカミキリ *Ropica honesta* Pascoe, 1865

1ex., 南風見, 9. II. 2013, 土田採集; 1ex., 南風見, 11. II. 2013, 土田採集.

各種広葉樹のピーティングで確認した.

8. ハヤシサビカミキリ *Ropica loochooana hayashii* Breuning, 1958

lex., 南風見, 8. II. 2013, 土田採集; lex., 南風見, 9. II. 2013, 土田採集; lex., 南風見, 11. II. 2013, 土田採集.

各種広葉樹のビーティングで確認した.

9. ヨコスジサビカミキリ *Pterolophia (Hylobrotus) latefascia* Schwarzer, 1925

lex., 船浦, 8. II. 2013, 土川採集; lex., 南風見, 9. II. 2013, 土田採集.

各種広葉樹のビーティングで確認した.

10. イシガキツツクビカミキリ *Cylindilla makiharai* Hasegawa, 1992

lex., 相良川, 7. II. 2013, 土田採集.
オキナワテイカカズラ *Trachelospermum gracilipes* var. *liukiense* の枯蔓のビーティングにより確認した.

11. コゲチャサビカミキリ *Mimectatina meridiana ohirai* Breuning et Villiers, 1973

lex., 相良川, 9. II. 2013, 鈴木採集.
オキナワテイカカズラの枯蔓のビーティングにより確認した.

12. オビレカミキリ *Euseboides matsudai matsudai* Gressitt, 1938

lex., 相良川, 9. II. 2013, 土川採集.
オキナワテイカカズラの枯蔓のビーティングにより確認した.

筆者の1人, 土田は西表島における10月の調査結果から16種類のカミキリムシを報告しているが(土田, 2011), 今回の調査で確認された種類と比較すると, フタホシサビカミキリ(以下カミキリ略),

ハヤシサビ, コゲチャサビ, オビレの4種が共通して確認されている. 一方, 沖縄本島における10月の記録(楨原, 1989)と比較するとアヤモンチビ(別亜種), フタホシサビ, コゲチャサビ, オビレの4種類が共通しておりフトカミキリ亜科に属するものであった. また属レベルでの比較をみると, ヒメカミキリ属(*Ceresium*), ホソバナカミキリ属(*Thranis*), フタホシサビカミキリ属(*Ropica*), サビカミキリ属(*Pterolophia*)でも共通性が認められた. 引き続き, 採集者が訪れる機会の少ない時期の調査がなされ, 石垣島におけるススキサビカミキリ *Pterolophia kubokii* Hayashi, 1976の調査例(廣川, 2013)のように, 西表島や南西諸島におけるカミキリムシ科成虫の年間を通した発生や化性の機構に関する知見が明らかにされることを期待する.

末筆ではあるが, 本報告の執筆にあたりご協力をいただいた日下部良康氏に厚くお礼申し上げる.

引用文献

- 廣川典範, 2013. 石垣島のススキサビカミキリは飛べない. 月刊むし, (505): 17-18
- 河合秀樹・土田孝・日下部良康, 2014. 西表島における最近のカミキリムシ科の記録. 月刊むし, (520): 14-26
- 楨原 寛, 1989. 沖縄本島・10月のカミキリ. 月刊むし, (215): 21.
- 日本鞘翅目学会(編), 1984. 日本産カミキリ大図鑑. 565 pp., 96pls. 講談社, 東京.
- 大林延夫・新里達也(共編), 2007. 日本産カミキリムシ, 818 pp., 133 pls. 東海大学出版会, 秦野.
- 土田 孝, 2011. 沖縄県西表島10月のカミキリムシ. さやばねニューシリーズ, (4): 15-16.
- 土屋利行, 2009. 沖縄県西表島で11月に採集したカミキリムシ. 月刊むし, (460): 43.

(2014年8月26日受領, 2014年9月3日受理)